

2018 年度「感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座」
講義概要

前期

第 1 日 2018 年 9 月 22 日(土)

第 1 時限 (13:35~15:05)

『**感染症学**』

講師： **がん・感染症センター都立駒込病院 関谷紀貴**

講義概要： 関谷先生からのメッセージ

抗菌薬適正使用支援加算が導入され、AST 活動に注目が集まっています。その一方で、AST と ICT の住み分けや、個別の感染症診療に対する関わり方など、施設状況に応じて活動内容の在り方について悩まれているかもしれません。今回は、感染症診療の基本に立ち返りつつ、どのような視点で AST 活動に取り組むと良いかを皆様と一緒に考えたいと思います。

第 2 時限 (15:20~16:50)

『**病院建築と感染対策**』 ~事例から学ぶ施設環境と感染対策~

講師： **工学院大学 寛淳夫**

講義概要： 寛先生からのメッセージ

国内外の医療施設の事例を見ながら、施設環境を整えることによる感染対策のあり方を考える講義です。他の施設の事例から多くのことを学んでください。

第 3 時限 (17:05~18:35)

『**単回使用医療機器の再製造**』

講師： **医療法人 平岩病院/東京医療保健大学 大久保憲**

講義概要： 大久保先生からのメッセージ

2014 年 6 月に厚労省から「器材の添付文書の記載を遵守するとともに、特段の合理的理由がない限り SUD を再使用しない」旨の通知が発出され、SUD の再使用は完全に禁止された。「通知」は法律ではないものの、その実施には強く影響を及ぼすことになり現在に至っている。

その後、薬機法の一部を改正する省令に基づき、「再製造 SUD 基準」にて、承認を受けた業者がこれを収集、分解・洗浄・滅菌等の処理（再製造）を行い、同一の使用用途の SUD として再び製造販売できる仕組みができた。これらの詳細について解説する。

前期

第2日 2018年9月23日(日)

第1時限 (8:30~11:45)

『サーベイランス① 疫学・統計学』

講師： 帝京大学臨床研究センター 藤田烈

講義概要：藤田先生からのメッセージ

今回の講義では、サーベイランスデータの解析に頻繁に用いられる基本的な統計手法を解説し、簡単なグループ演習（模擬データ解析）を行います。電卓（携帯電話でもOK）だけ御持参ください、お土産に自信を持ち帰っていただきます。

第2時限 (12:35~14:05)

『在宅・訪問看護の感染対策』

講師： 埼玉医科大学総合医療センター 澤田理恵
日本看護協会 看護研修学校 渋谷智恵

講義概要：澤田先生、渋谷先生からのメッセージ

病院内で組織的に行う感染対策とは違い、在宅では個別の事情や限られた環境などさまざまな状況から対策を行う難しさがあります。訪問看護認定看護師である講師が紹介する症例について、受講者同士が意見交換し解決策や課題を考えることで、在宅医療の感染対策に対する関心・理解を深めてもらいたいと考えています。

第3時限 (14:20~15:50)

『インストラクション技術』

講師： 東京工芸大学 大島武

講義概要：大島先生からのメッセージ

専門職の人にとって自らの専門領域を絶えず学び続けることは大切なことです。一方で、自分だけが知識を深めるのではなく、臨床現場でスタッフを指導したり、研修の講師を務めたりする人も少なくないでしょう。本講義では「インストラクション技術」を扱います。教える側が陥りがちなミスや勘違いについて考え、効果的な教え方を検討します。

◎後期

第1日 2019年1月12日(土)

第1時限 (13:35~15:05)

『行政からみた感染対策』

講師：茨城県竜ヶ崎・土浦保健所 緒方剛

講義概要：緒方先生からのメッセージ

行政で思い浮かべるのは、届出とこもてな(しかし時にずれた)立入検査でしょうか。しかし臨床と行政は、病院の内外という別の場所にながらも、感染管理という共通のミッションを担っています。両者が連携することによって新たに得るものがあると考えます。行政とのネットワークや情報共有についてお話しいたします。

第2時限 (15:20~16:50)

『外科感染症学』

講師：広島大学病院 大毛宏喜

講義概要：大毛先生からのメッセージ

手術部位感染症 (SSI) は術中の汚染菌が原因なので、宿主が対処できる菌数以下に制御できれば SSI は予防可能です。ところがその菌数は宿主の免疫能、菌種、臓器、血流など様々な要因で変化します。周術期の感染対策は、一見踏み込みにくい領域ですが、対策の意味を整理することが大切と考えます。

第3時限 (17:05~18:35)

『微生物と抗菌薬』

講師：三井記念病院 相野田祐介

講義概要：相野田先生からのメッセージ

現場で日常業務をこなしていると、「菌の名前がさっぱり覚えられない・・・」というお悩みをお持ちの方が少なくありません。AST活動が始まるとさらに「今度は抗菌薬の名前も・・・」という悩みも増えてきます。

今回、微生物と抗菌薬の関係について、明日からの日常業務で役立つように整理してみましよう！

◎後期

第2日 2019年1月13日(日)

第1時限 (8:30~10:00)

『ワンヘルス～伴侶動物由来耐性菌』

講師：鳥取大学 農学部 原田和記

講義概要：原田先生からのメッセージ

近年、伴侶動物と飼い主の間に緊密な関係が構築されるようになっており、伴侶動物とヒト間の薬剤耐性菌の伝播リスクが高まっていると指摘されています。この背景から、伴侶動物における薬剤耐性菌の分布状況を把握し、その対策について検討するよう求められています。本講義では、伴侶動物由来の薬剤耐性菌の現状やヒトに対する伝播リスクに関する調査結果についてご紹介します。

第2時限 (10:15~11:45)

『サーベイランス②』

講師：聖路加国際病院 坂本史衣

講義概要：坂本先生からのメッセージ

効果的な感染予防には、リスク評価と改善が不可欠です。感染対策の専従担当者が何人いても、週1回のラウンドをしても、手指衛生を頑張っても、リスク(=アウトカム)を測定しなければ「うちの感染対策はうまくいっている」かどうかは分かりません。サーベイランスをリスク評価にどう用いるのか、具体例を紹介しながら解説します。

第3時限 (12:35~14:05)

『ファシリティマネジメント』

講師：東北大学大学院 金森肇

講義概要：金森先生からのメッセージ

医療施設における環境、水、空調に関連した医療関連感染やアウトブレイク事例が世界中で起こっています。

近年、新たなリザーバーや感染源も報告されていますので、医療環境を介したアウトブレイクと感染対策について考えてみましょう。

環境感染制御に関する最新の知見についても解説します。

第4時限 (14:20~15:50)

『感染制御をめぐる内外の最新トピックス』

講師：山形大学医学部附属病院 森兼啓太

講義概要：森兼先生からのメッセージ

恒例の感染制御最新トピックスです。海外情報として、学会(APIC2018、ID Week2018)のトピックス、CDCなど各種団体のガイドラインの改訂を紹介します。国内情報も適宜紹介します。また、2017年~2018年に発行された論文から最新の感染制御に関する知見を紹介します。」